

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	桜とさくら。神戸すずらん台			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		～	2025年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～	2025年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通所デイサービスに通う高齢者と関わることにより 方に活力や思いやりの心が生まれる	双	お出かけや行事イベントなど高齢者と児童と一緒に楽しめ、関わりあうことの出来るレクリエーションを考え、プログラムに反映している	今後も継続して高齢者との関わりを多くしていきます
2	様々な媒体を通して、支援内容や一日の様子を記録と共に写真にして保護者様にお送りしている		利用者の表情や一緒に遊んでいる友達の顔などを知ってもらうことで、家庭での会話を増やしたり、利用者が家でも話しやすいようにしている。 保護者に安心感を持ってもらうためでもある。	今後もご家庭との情報共有を丁寧に行い、子供達が安心して通所出来る環境に努めてまいります
3	部屋数があること、庭や畑など外遊びのできるスペースもあため活動内容によって使い分けができる	あ	屋外滑り台や庭、砂場などすぐで外で遊べる環境を生かしたプログラムを実施している。また屋内外での集団遊びを通して、ソーシャルスキルを身に付けることができる。	参加する子供達全員が、安心安全に楽しく参加できるよう、活動場所を使い分けながら、支援の向上に努めてまいります

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流が少ない		保護者交流会を何度か開催したが、参加率の確保が難しく、参加が毎回同じご家族であることが多い	アンケートや面談にて、保護者様のニーズを把握し、その結果を踏まえて、多くの保護者様に参加していただける企画を実施していきたい
2	一人一人の児童の年齢やレベルに合わせた活動提供が難しい		曜日によって、お子様の年齢やレベルの幅が広く、集団プログラムの実施が難しい日がある	集団プログラムに加えて、少人数でお子様を支援するプログラムに力を入れていく。一人一人に合わせた活動の提供を実施していきたい
3				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 桜とさくら。神戸すずらん台

公表日 2026年3月11日

利用児童数 35名

回収数 21名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		1	利用する日によって子供の人数も異なる がその都度工夫は出来ている	今後も現状のスペースを有効活用して いきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2		1		今後も基準を満たした人員配置を行い 支援していきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2				引き続き、安全確保に努め、過ごしやす い環境を整えます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	21					毎日の清掃を徹底し、感染症の予防にも 努めてまいります
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	18	1	1	1		子供達の特性に合わせて専門性のある支 援が行えるよう努めてまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17	2		2		今後も公表しているプログラムに応じ た、適切な支援を行っていきます
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	20			1		今後も法に基づいた支援計画を作成して いきます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	20		1			今後も計画に沿った適正な支援を行って いきます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	19			2		今後も計画に沿った適正な支援を行って いきます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	21				日々、子供達を楽しみながら体験し学べ る工夫をしてくれている	活動プログラムが固定化されないよう、 充実した活動を提供していきます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	13				8	地域交流の場を増やしたり、イベント参 加を通じて交流を深めていきます
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	19	2				今後もご不明点がないよう、丁寧な説明 をしていきます
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	20			1		今後もご不明点がないよう、丁寧な説明 をしていきます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	19	1		1		今後も保護者様との定期的な面談を行っ ていきます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができてきていると思 いますか。	18	3				連絡ノートやライン、SNSを通して日々 の様子をお伝えするようにします
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	2			定期的な面談だけでなく、必要に応じて の面談を今後も続けていきます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	19	1		1		今後もお困りごとや不安要素を少なくで きるよう、共感的な支援に努めていま す
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	1	3		今後も保護者会を実施し、保護者同士の 交流の促進に努めていきます
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	18	2		1		今後も相談をいただいた際には、迅速か つ適切に対応していきます
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	19	2				今後も送迎時などに直接保護者様との関 わりを丁寧に行ってまいります

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20			1		今後もSNS等で、情報発信を行っていきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		引き続き、個人情報を丁寧かつ慎重に取り扱ってまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			3		定期的に避難訓練を実施しています。マニュアル周知徹底を行っていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		6		非難訓練を実施した際、都度安全確認の徹底を行っていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			2		今後も子供の安全確保を十分に行っていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1	4		怪我等があった場合、職員間で連携してご家庭への連絡、ご本人の観察を行っています。今後も継続していきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1				お子様一人ひとりが安心して通所出来るような環境づくりと関わりを持てるよう努めていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1				今後も子供達に通所を楽しみにしていただけよう、支援プログラムの工夫に努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1		1		子供達一人ひとりに十分な支援を行えるよう、お子様や保護者様の方に寄り添ってまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		桜とさくら。神戸すずらん台				公表日	2026 年 3 月 11 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	室内だけでなく、庭や屋外滑り台なども活用できている	クールダウンする場所があったほうが良いように思う		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		職員を固定せず、その日の状況に応じた見守り体制が取れている	曜日によって多少ばらつきがある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	来所してからの行動をルーティン化し、おもちゃや文房具など定位置をきめ、視覚的にもわかりやすいようにしている	古民家のため一部車椅子での移動は難しい		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	毎日しっかりと清掃・消毒を行っている	今後も徹底していく		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		複数人数になった場合、対応が難しいため、今後の課題とする		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	定期的にミーティングを行い、日々の連絡事項についてはタイムツリーにて引継ぎをしている	今後も広く職員が参加できるミーティングの実施、業務改善提案の場を増やしていく		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者会の開催や気になることがあれば都度連絡するようにしている	評価をもとに業務改善に努める		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎朝のミーティングなど、お互い話しやすい環境作りはできている	今後もスタッフの意見を参考に業務改善に努める		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			必要に応じて第三者評価も検討する		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		研修受講の機会を増やし、支援の質を高めていきたい		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		複数職員でプログラムを作成し、偏りのないよう作成している	引き続き、適切な支援プログラムの作成・公表を行う		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			今後も引き続き適切に行う		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童の課題を職員間で共有し、都度解決策の話し合いは出来ている	今後も継続して取り組んでいく		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			今後も継続して計画に沿った支援を行う		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			今後も引き続き適切に行う		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容も記載している	今後も引き続き適切に行う		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		定期的なミーティングを通して、支援計画に基づいた活動プログラムの立案を行っている	今後も偏りのないよう、全職員チームで企画・立案を行う		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		様々な職員が立案を行い、バラエティに富んだ企画を考えている	今後も現状を維持し、取り組む		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		職員の配置によっては難しい日がある		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日ミーティングや申し送りを実施し、児童の情報共有や支援プログラム確認を行っている	今後も引き続き適切に行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			今後も引き続き適切に行い、より良い支援に努める
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		今後も引き続き適切に行い、業務日報などの記録を徹底する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、今後の支援について職員間で情報共有している	今後も定期的にモニタリングを行い、適切な見直しを行う
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6			今後も「4つの基本活動」に基づいた支援を行う
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			今後も引き続き、適切に対応する
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		外部の会議には、児童発達支援管理責任者や管理者が参加している
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		様々な機関と連携して支援が行えるよう、会議に参加している	今後も引き続き、会議などに参加していく
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			今後も引き続き、学校園とも情報共有していく
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	就学前の情報は保護者との面談時にヒアリングしている。	今後も引き続き、適切に対応する
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		来年度以降の課題となっており、見学を検討している
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			今後必要に応じて連携していく
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		地域交流事業を開催したり、近隣大学のイベントに参加をしている	今後も定期的に開催を計画していく
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		地域のこども部会に参加している	今後も積極的な参加に努める
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		定期的な面談、日々の連絡ノートや送迎時にご家族へその日の様子を伝えている	今後も引き続き、適切に対応する
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		支援学校職員や相談員を招いて保護者会を開催している	今後、必要に応じて保護者様に対する研修を行いたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		今後も引き続き、適切に対応する
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的な面談で子供や家族の意向を確認している	今後も継続して、子供やご家族の意向を確認する機会を設けていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			今後も引き続き、適切に対応する
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			今後も引き続き、適切に対応する
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		定期的に保護者会や茶話会の開催をしている	今後も定期的に茶話会や研修会などの企画をしていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			今後も引き続き、適切に対応する

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSを通じて、日々の様子をお伝えしている	今後もSNS などを通じて、日頃の様子や行事について発信していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			今後も個人情報の取り扱いを徹底する
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		面談だけでなく、ラインでも情報伝達を行い、迅速に意思疎通を図っている	今後も継続して適切な情報伝達を行う
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		地域交流イベントを不定期ではあるが、開催している。3月28日にも交流事業を計画している	今後も定期的に開催を計画していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		警報発令時の対応、感染症による学級閉鎖時等の対応が未確定な部分があるため、マニュアル化していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		災害に備えた避難訓練を定期的実施している	今後も定期的に訓練を重ねていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に服薬やてんかん発作について確認している	今後も引き続き、適切に対応する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギーのあるお子様は契約時に確認し、対応している	今後も引き続き、適切に対応する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に沿った避難訓練などを行っている	今後も現状維持し、安全管理を徹底していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			定期的なモニタリングなどで周知徹底を図っていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事故報告書の作成・職員間の情報共有は出来ている	今後も引き続き、適切に対応する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応をしているか。	5	1	虐待防止についての研修の機会はまだ安定していない	今後定期的に研修や訓練の場を増やし、職員の意識を高める
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			今後も引き続き、適切に対応する